



フィデアホールディングスの コーポレート・ガバナンス

平成27年8月18日
フィデアホールディングス 株式会社
代表執行役社長 CEO 里村 正治

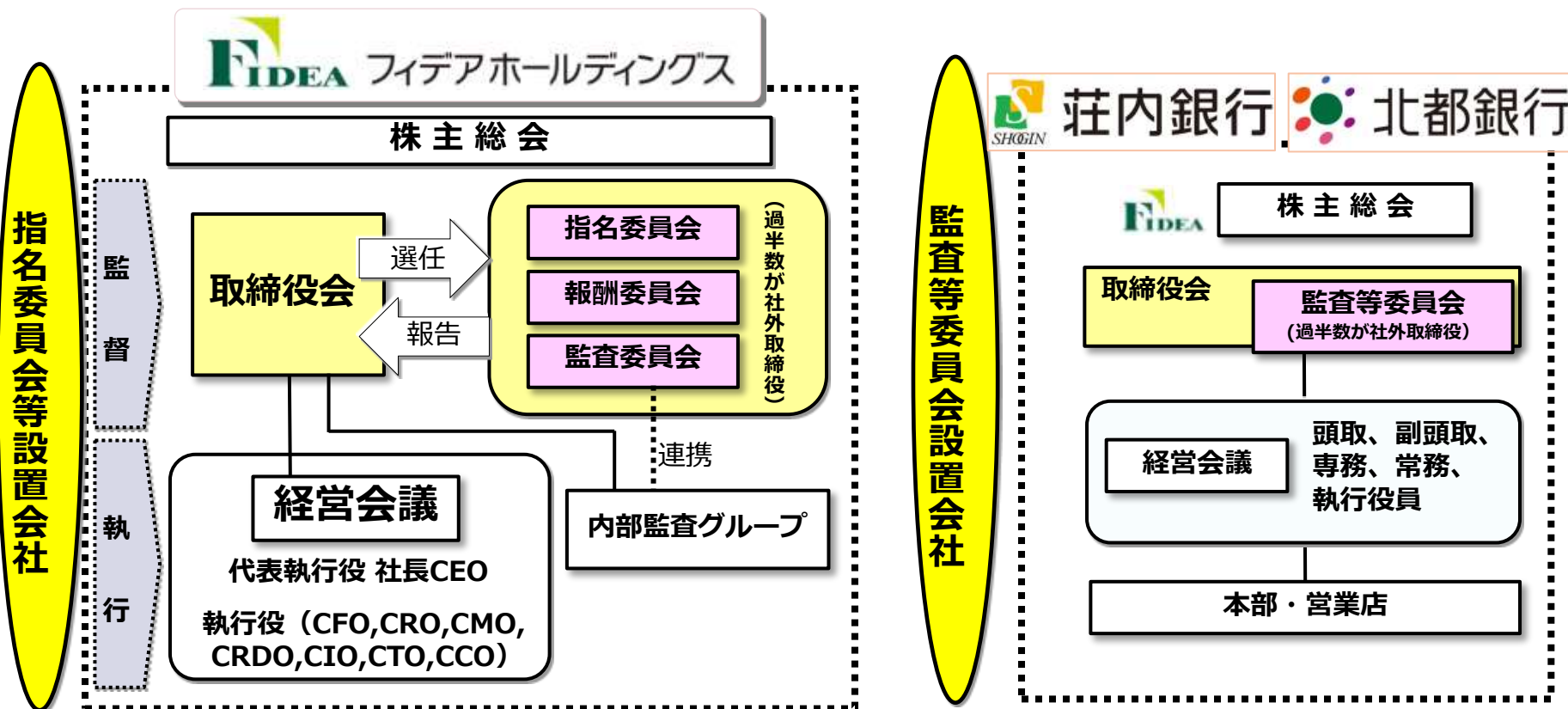


目次



グループ・コーポレート・ガバナンス体制	2
取締役会の構成及び執行体制	3
委員会の運営	4
社外取締役の果たす役割ほか	5
－資料編－	6
〔 フィデアグループ 概要 フィデアのオープンプラットフォーム戦略 フィデアホールディングス 組織図 社外取締役 略歴 〕		

グループ・コーポレート・ガバナンス体制



- 持株会社であるフィデアホールディングスは、平成21年の設立当初から監督と執行が分離した「モニタリング・モデル」を採用し、グループ戦略やリスク管理、資本政策など全社戦略を担当。
- 両行は、この6月に、改正会社法による新制度「監査等委員会設置会社」に移行。従来の監査役（社外を含む）が取締役（監査等委員）として取締役会に参加し、監査監督機能の強化や取締役会の活性化など、コーポレート・ガバナンス体制の一層の強化を図る。

取締役会の構成及び執行体制



【取締役会の構成】

【3委員会】

【執行体制】

取締役

町田 睿 (取締役会議長) ※	指名委員長、報酬委員
里村正治 (代表執行役社長) ※	
國井英夫 (荘内銀行 頭取)	
斉藤永吉 (北都銀行 頭取)	
塩田敬二	監査委員長

社外取締役

伊藤新造	指名委員、報酬委員長
金井正義	監査委員
能見公一	指名委員、報酬委員
古谷勝幸	監査委員
西堀 利	指名委員、報酬委員

管 掌	氏 名
CEO (最高経営責任者)	里村 正治
CFO (最高財務責任者)	宮下 典夫
CRO (最高リスク管理責任者)	富岡 行介
CMO (最高マーケティング責任者)	宮下 典夫
CRDO (最高地方創生責任者)	大八木政春
CIO (最高投資責任者)	尾野 文昭
CTO (最高ICT・システム責任者)	里村 正治
CCO (最高コンプライアンス責任者)	宮下 典夫
内部監査責任者	(正) 里村 正治 (副) 宮下 典夫

※ 町田睿は、荘内銀行取締役相談役、北都銀行取締役会長を兼任。里村正治は、荘内銀行取締役、北都銀行取締役を兼任。

- 監督機能を十分に発揮するため、業務執行にかかわる者は委員会メンバーとしていない
- 社外取締役は、利益計画や重要な経営戦略にかかる経営会議に参加している
- 社外取締役は、全員、独立役員

委員会の運営



指名委員会

- 株主総会に提出する取締役候補者の選任及び解任に関する議案の内容について協議（社外取締役については、その独立性や適格性を含め協議のうえ選定）
- 取締役会に提出する執行役等人事について協議
- 荘内銀行、北都銀行を含むグループ会社の役員異動について報告を受ける
- 平成26年度中、7回開催（役員等の異動の都度開催）

報酬委員会

- 取締役及び執行役の個人別の報酬等の方針と個人別の報酬等の内容を決定し、取締役会へ報告
- 荘内銀行、北都銀行を含むグループ会社の役員等の報酬の方針や個人別の内容について報告を受ける
- 平成26年度中、3回開催（役員等の新任の都度開催）

監査委員会

- 適法、妥当かつ効率的な業務運営を確保することを目的に、取締役及び執行役の職務の執行を監査する。また、監査報告を作成する
- 会計監査人及び内部監査グループと相互に連携。必要に応じて所管部署に報告を求める
- 平成26年度中、10回開催

- 取締役会及び各委員会を、経営統括グループが事務局としてサポート
- 社外取締役は、重要な経営戦略等にかかわる経営会議に参加しているほか、経営統括グループ長が必要に応じて取締役会付議事項を事前説明するなど、社外取締役の機能が円滑かつ適切に発揮されるよう努めている

社外取締役の果たす役割ほか



社外取締役の主たる役割

取締役会が決定した経営戦略ないし経営計画に照らして、当社グループの経営の成果及び経営陣のパフォーマンスを随時検証及び評価し、全ての株主共同の利益の観点から、現在の経営陣に当社の経営を委ねることの適否について判断し、意見を表明すること

社外取締役候補者の指名を行うに当たっての方針

- ① 社外取締役にふさわしい人格・識見を有すること
- ② 豊かな業務経験または専門経験を有すること
- ③ 十分な社会的信用を有すること
- ④ 社外取締役として独立性を維持できること
- ⑤ 心身ともに健康であること

(独立性判断基準)

上記の他、独立社外取締役の選任基準を、当社グループ関係者、取引関係者、専門的サービス提供者、その他について設定

取締役のトレーニングの方針

- 取締役会は、取締役がその役割・責任を適切に果たしていくうえで必要な知識・情報を取得、更新することができるよう、就任時に加え、就任後も継続的に、外部機関が提供する講習なども含め必要な機会を提供、斡旋するとともに、その費用を支援する
- なお、新任の社外取締役には、就任時において、当社グループの歴史、経営理念、事業構造などに関する知識・情報を取得する機会も提供する



— 資料編 —



フィデアグループ 概要



フィデアホールディングス

代 表 者	代表執行役社長 CEO 里村 正治
創 立 年 月 日	平成21年10月1日
本 店 所 在 地	宮城県仙台市青葉区中央三丁目 1番24号
資 本 金	154億50百万円
従 業 員 数	連結：1,744名

(平成27年3月末現在)

【 沿 革 】

平成20年5月14日	荘内銀行及び北都銀行が経営統合を視野に入れた資本提携について基本協定書締結
平成21年5月15日	荘内銀行及び北都銀行の取締役会において「株式移転計画書」の作成及び「経営統合に関する協定書」の締結を決議
平成21年6月25日	荘内銀行及び北都銀行の定時株主総会において、両行が共同で株式移転の方法によりフィデアホールディングスを設立し、両行がその完全子会社となることについて承認を得る
平成21年8月7日	荘内銀行及び北都銀行が銀行法上の当社設立認可を受ける
平成21年10月1日	フィデアホールディングス株式会社設立、東京証券取引所市場第一部へ上場
平成22年6月18日	(株)荘銀ベンチャーキャピタルの商号を、「(株)フィデアベンチャーキャピタル」と変更
平成22年7月1日	(株)荘銀総合研究所の商号を、「(株)フィデア総合研究所」と変更
平成24年4月1日	荘銀カード(株)と(株)北都カードサービスが合併し、商号を「フィデアカード(株)」とする (株)北都情報システムズの商号を、「(株)フィデア情報システムズ」と変更
平成25年3月29日	「フィデアグループ第2次中期経営計画」策定

主なグループ企業

荘内銀行	(銀行)
北都銀行	(銀行)
フィデア総合研究所	(調査研究、情報サービス等)
フィデアカード	(クレジットカード、信用保証)
フィデア情報システムズ	(ソフトウェア開発、計算受託)
フィデアベンチャーキャピタル	(投資業)

フィデアのオープンプラットフォーム戦略



【オープンプラットフォーム戦略】

「持株会社の顧客は各銀行」

- グループ経営における持株会社と各銀行のミッション・責任・役割を明確に分担
- 人口減少・高齢化や地域経済のグローバル化が進展する中、持株会社における徹底した専門性の追求により “競争優位” (Competitive Edge) を確立
- 持株会社は銀行経営に関する種々の分野における“専門人材の集積地”であり、その扉は常に開放されている



荘内銀行

【経営戦略としての「地域の舞台づくり」】



北都銀行

- 金融仲介機能の発揮・強化
- 地域経済の牽引役として、金融仲介機能の発揮・強化を通じて地域の活性化、新しい東北のカたちづくりに貢献

- ・ニューフロンティアビジネスへの取組強化
- ・リテールビジネスの取組強化
- ・グローバルビジネスへの取組強化
- ・地公体(県市町村)との協働案件の増大
- ・大学との連携強化策の展開、大学発ベンチャー企業への育成支援 等



【経営戦略としての「革新の土台づくり」】

- グループ全体のガバナンス強化
- 各銀行の主たる役割の徹底と収益力拡大による地域貢献力の強化
- 広域性を追求することによるマーケットの拡大
- 銀行経営に関する種々の分野における人材の確保

- グループ全体のリスク管理、内部監査等の高度化
- グループ全体を包含するICT戦略の策定、実施
- 健全性、効率性、成長性を重視した最適な資本政策の企画、実施

地域
お客さま

銀行

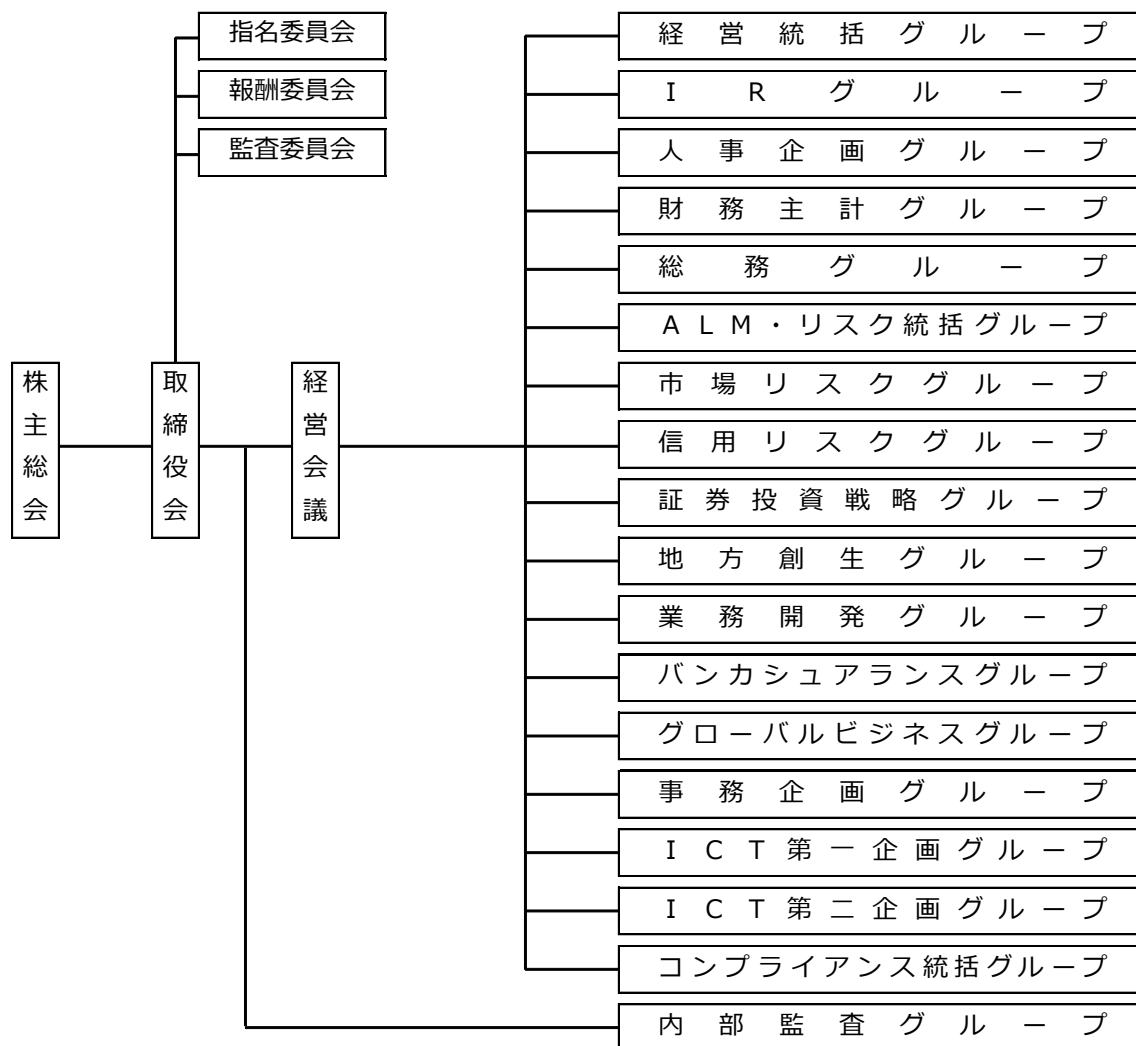
持株会社

フィデアホールディングス 組織図



(H27.8.1現在)

フィデアホールディングス(株) 業務機構図



社外取締役 略歴



氏名	略歴	
伊藤 新造	昭和34年4月 昭和62年6月 平成元年5月 平成2年5月 平成4年6月 平成10年6月 平成15年6月 平成20年6月 平成21年10月	(株)富士銀行入行 同行取締役人事部長 同行取締役本店営業第一部長 同行常務取締役 芙蓉総合リース(株)代表取締役社長 (株)富士総合研究所代表取締役社長 (株)荘内銀行監査役 同行取締役 フィデアホールディングス(株)取締役(現職)
金井 正義	平成5年3月 平成5年8月 平成5年8月 平成20年6月 平成21年10月	公認会計士登録 税理士登録 金井公認会計士事務所(現職) (株)北都銀行取締役 フィデアホールディングス(株)取締役(現職)
能見 公一	昭和44年4月 平成11年6月 平成14年6月 平成16年6月 平成18年6月 平成19年2月 平成21年7月 平成21年10月	農林中央金庫入庫 同金庫常務理事 同金庫専務理事 農林中金全共連アセットマネジメント(株)代表取締役社長 (株)あおぞら銀行代表取締役副会長 同行代表取締役会長 (株)産業革新機構代表取締役社長 フィデアホールディングス(株)取締役(現職)

氏名	略歴	
古谷 勝幸	昭和39年4月 平成元年5月 平成3年1月 平成12年4月 平成17年5月 平成17年8月 平成20年6月 平成22年6月 平成22年6月	日本銀行入行 同行審査役 京都信用金庫理事 日本ドレーク・ビーム・モリン(株)顧問 アリコジャパン金融法人本部部長 A I G特別顧問 (株)北都銀行取締役 (株)荘内銀行取締役 フィデアホールディングス(株)取締役(現職)
西堀 利	昭和50年4月 平成14年4月 平成14年12月 平成16年4月 平成16年6月 平成20年4月 平成21年4月 平成23年6月 平成27年6月	(株)富士銀行入行 (株)みずほコーポレート銀行執行役員財務企画部長 同行執行役員財務・主計グループ・シニアコーポレートオフィサー (株)みずほフィナンシャルグループ常務執行役員財務・主計グループ長 同社常務取締役財務・主計グループ長 (株)みずほ銀行取締役副頭取 同行取締役頭取 (株)みずほフィナンシャルグループ顧問(現職) フィデアホールディングス(株)取締役(現職)

グループスローガン

地域と向き合う、次代につなぐ。信頼のFIDEA

グループ理念 <FIDEA 5>

私たちは、地域に密着した「広域金融グループ」として、
お客さまの高い満足と地域の発展のために、
上質な「金融情報サービス」を提供し続ける。

- 1 常にインキュベーション、イノベーションを創発する
「開かれたネットワーク」を目指す。
- 2 次代へのナビゲーション、ソリューションを提供する
「お客さまのベストパートナー」となる。
- 3 過去の慣例にとらわれない発想とチャレンジにより
「地域のフロントランナー」であり続ける。
- 4 人材を活かし、組織をつなぎ、価値創造へとリードする
「金融情報サービスのプロ集団」となる。
- 5 顧客と社会の視点に立って、透明・公正・公開に徹する
「信頼の金融グループ」であり続ける。



[当資料に関するお問い合わせ先]
フィデアホールディングス株式会社
I Rグループ 大石 (Tel : 022-290-8800)